

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の名称

施設の名称	おびら和牛繁殖センター		所管課名	経済課農林係				
所在地	小平町字達布 957 番地 1		設置年月日	令和3年12月20日				
施設設置目的	小平町における畜産振興の基盤を確立し、もって農業経営の安定に寄与するため。							
主な施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛舎 1 棟 1,258.2 m² ・堆肥舎（調整棟） 1 棟 224 m² ・分娩・保育牛舎 1 棟 1,360.8 m² ・堆肥舎（攪拌棟） 1 棟 243 m² ・育成・繁殖牛舎 1 棟 1,499.2 m² ・飼料保管庫 1 棟 318.1 m² 							
指定管理者名	合同会社 北海道アクシア							
選定方式	公募・ <u>非公募</u>		【非公募の理由】 ① 当該施設の性格、規模及び機能により公募することが適さないと認められるとき。（規則第6条第1項第1号） 2 公募に対し応募者がいないとき。（規則第6条第1項第2号） 3 指定管理者の候補者に選定された団体をしてすることが不可能となり、又は著しく不相当と認められる事情が生じたとき。（規則第6条第1項第3号）					
	(特記事項)							
指定開始年度	令和4年度							
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）							
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・おびら和牛繁殖センターを適切かつ円滑に管理するために必要な業務。 ・当施設の利用許可及び利用料金の徴収に関する業務。 ・当施設及び付属設備の維持及び管理に係る業務。 ・上記のほか、当施設に関係し必要と認められる業務。 							
利用料金の導入	<u>あり</u> なし							
施設の利用実績	利用区分等		利用実績					
			4年度	5年度	6年度			
	繁殖牛	期間	4/1～3/31	4/1～3/31	4/1～3/31			
		日数	365日	365日	365日			
		頭数	66.8頭/日	114.2頭/日	193.1頭/日			
	哺育牛	期間	—	4/1～3/31	4/1～3/31			
		日数	—	365日	365日			
頭数		—	69.1頭/日	48.3頭/日				
(特記事項)								
指定管理料	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	0円	0円	0円					
	(特記事項)							
指定管理者職員体制	合計	5人	職員	2人	臨時	3人	パート	人
(その他特記事項)								

2 町（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づき、その水準が達成されているか町が点検・評価するものです。

■評価の基準

優 良：高いレベルで実施されており高く評価できる。

良 好：事業計画書どおりに適切に実施されており、問題は見られない。

普 通：事業計画書どおりに概ね適切に実施されているが、一部不適切な部分を確認されたが改善済みである。

不十分：不適切な部分を確認されたので、改善を要する。

大項目	中項目	評価項目	評価				評価に対する説明
			優 良	良 好	普 通	不 十 分	
管理能力	団体の概要	団体の経営状況はどうか		○			
		当該施設管理運営をサポートする体制はあるか			○		
	適切な管理運営	町の方針、施設の設置目的等を理解した管理はされているか		○			
		町が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか			○		
		公共の仕事という倫理性や法令遵守を認識し対応しているか			○		
		町や関係団体等と連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか		○			
	町民の平等利用	正当な理由なく一部の町民に利用制限や優遇が行われていないか		○			
		事業内容に偏りがなく、利用者が限られることはないか			○		
	適切な組織・体制	職員体制や配置人員は適切であるか			○		
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か		○			
		労働関係法令を遵守した規定を整備し、職員の適正な労働条件を確保しているか		○			
	職員研修・人材育成	職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか			○		
	経理及び事務処理	会計処理の基準等に基づき適正な事務処理となっているか			○		
		経理帳簿等を整備し、情報公開や監査請求に対処できるか		○			
		必要に応じパソコン等 I T 機器を活用できるか		○			
		施設や設備の保守点検は、必要な基準や仕様を満たしているか		○			
		業務報告や事業報告が適切に作成されているか			○		
	安全管理	安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか		○			

		施錠、警備体制等は適切であるか			○		
		利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか		○			
	緊急時対応	事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか		○			
		避難経路の確保や避難時に支障をきたす障害物はないか		○			
	個人情報保護	個人情報の管理方法においてセキュリティ対策を講じているか			○		
秘密の保護	職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか			○			
施設の運営	業務内容	業務について処理・対応が適切に行われているか		○			
		管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか			○		
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか			○		
		年間の事業量が適切に実行されているか			○		
	業務の第三者委託	業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	-	-	-	-	
		再委託先から適切に業務報告をさせるなど再委託の管理が適切か	-	-	-	-	
	経費節減・業務効率化	経費節減や業務効率化が継続的に行われているか			○		
	備品等の維持管理	引き渡した備品等に過不足はないか			○		
		引き渡した備品等はその機能が失われていないか			○		
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか			○		
	利用者サービス	利用者サービスの向上に努めているか			○		
	障害者等への配慮	障害者、子ども、高齢者等に配慮した管理がされているか	-	-	-	-	
	苦情等への対応	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応しているか			○		
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われているか			○		
	環境への配慮	省エネ等の環境に配慮と廃棄物処理は適切か			○		
	地域との連携	地域住民等との連携に積極的に取り組んでいるか			○		
	自主事業	サービスの向上かつ収入増に結びついたか	-	-	-	-	
		収支のバランスはとれているか	-	-	-	-	
	特記事項への対応	募集要項における特記事項について考慮されているか			○		
	事業報告書	事業報告書と事業計画書を比較し、収支の過小、過大はないか			○		

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年4月8日～令和7年4月11日
	調査対象	施設利用者
	調査方法	対面聞き取り
調査結果	<p>発情の発見や分娩の介助、哺育育成など大変な作業の一部を繁殖センターに任せられるため、作業の軽減が図られており年々預託頭数が増頭傾向にある一方、作業員の負担が増えてきており、繁殖センター継続のためにも作業員の増員が急務と考えます。</p>	
利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな牛舎で牛がのびのびして良い。 ・施設の活用により、増頭が可能になりました。 ・作業員の方が頑張っているが、忙しすぎて体が心配。 ・除雪作業に時間を取られ牛舎作業に時間がかかるので何とかしてほしい。 	

4 指定管理者による自己評価

今年度の自己評価	<p>生産者の負託に応えるべく、生産者から預かった大事な牛という意識をもち、牛舎の見回りの強化をする事で、体調の変化に対応する事が出来ました。</p> <p>しかしながら助けられなかった牛もいる為、今後も継続して責任感を持ち安心して預けられる繁殖センターとしてあり続けたいと思います。</p>
今後の目標	<p>1戸でも多くの生産者に預けて頂けるように、飼養技術の向上に努めて参りたいと思います。</p>

5 町（所管課）による総合評価

<p>令和6年度は新たに育成・繁殖牛舎が完成し、飼養できる頭数が増加したことにより、繁殖・育成牛の預託頭数が平均で193頭まで増加し、昨年度より78頭増となっている。分娩時の事故も発生しておらず、経営についても、106万円の黒字経営となっており、良好な管理・運営体制が取れている。</p> <p>しかし、自己評価の中にも記載されているが、職員数が不足し、現状職員に過度の負担がかかっている状態が見受けられる。令和7年度に新たな牛舎建設も予定されており、現状職員の負担軽減を図るため、職員増が喫緊の課題であると思われる。</p> <p>施設管理者については、利用者のニーズに応える事もとより、労働環境や労働条件の改善についても対応を図って頂きたい。</p>	総合評価結果			
	優良	良好	普通	不十分
	○			